

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	5030122
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名	課等名	班等名
—	水道課	工務班

事業(予算)名	石綿管更新事業
---------	---------

総合計画体系	施策の大綱	第5章 市民のこころをむすび、可能性を未来につなぐまち						
	施策	施策3 次代を担う子どもを育む学校教育・幼児教育の推進						
	施策の展開	(1) 水の安定供給						
予算科目	会計		款		項		目	
関連計画・根拠法令等	水道法第5条							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H26	以下、現状のとおり。						

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	石綿セメント配水管は、昭和48年から昭和50年にかけて布設され、現在、40年以上が経過している中で、未だ約8.3km残存し、供用中である。そのため老朽化を考慮し、水の安定供給を図るため、耐震性の高いダクタイル鋳鉄管へ布設替える。						
	対象 (誰・何を)	石綿セメント配水管						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	石綿セメント管の更新 (水道事業創設時に布設され、現在も供用されている石綿セメント管を耐震性の高いダクタイル鋳鉄管に更新する。)						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input checked="" type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法 選択の理由							
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値			指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
石綿セメント管の更新延長	m	273	338	380	469	事業の進捗を管理する上で適しているため。
モルタル充填・舗装本復旧工事	式	—	1			
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
有収率	%	86.2	90	石綿管の更新により有収率の向上が図れるため。		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
石綿管更新事業	—	水道課	工務班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	石綿セメント管の更新延長	m	—	—	338		380		
	モルタル充填・舗装本復旧工事	式	—	—	1				
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	更新が必要な石綿セメント配水管延長	m	400	273	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	更新済石綿セメント配水管延長	m	400	273	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	石綿セメント配水管を、耐震性の高いダクタイル鋳鉄管へ布設替えすることにより、水の安定供給を図れる。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	石綿セメント配水管を、耐震性の高いダクタイル鋳鉄管へ布設替えすることにより、水の安定供給を図れるため、事業を促進していく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	5030122
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名	課等名	班等名
—	水道課	工務班

事業(予算)名	水道事業所施設整備事業
---------	-------------

総合計画体系	施策の大綱	第5章 市民のこころをむすび、可能性を未来につなぐまち						
	施策	施策3 次代を担う子どもを育む学校教育・幼児教育の推進						
	施策の展開	(1) 水の安定供給						
予算科目	会計		款		項		目	
関連計画・根拠法令等	水道法第5条							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	不明							

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	浄水場施設は昭和48年度から使用しており、老朽化や耐震性能不足が深刻化してきたため、重要度・緊急度の高いものから順次更新を進めている。						
	対象(誰・何を)	水道事業所内の水道施設						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	水道事業所内の施設更新事業(取水施設・浄水施設・配水施設・電気系統など)重要度の高いものから優先的に順次更新改修をしていく。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input checked="" type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由							
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値			指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
高圧受変電設備	%	—	20	40	40	事業の進捗を管理する上で適しているため。
1号取水井	%	100	0	0		事業の進捗を管理する上で適しているため。
ろ過流量計逆流流量計(H32年度)	%	—	0	0	100	事業の進捗を管理する上で適しているため。
後期基本計画における指標	単位	実績値26年度	目標値32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
有収率	%	86.2	90	水道施設の整備は有収率向上並びに水の効率的利用、安定供給に資する。		
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
水道事業所施設整備事業	—	水道課	工務班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	高圧受変電設備	%	—	—	20		40		
	1号取水井	%	—	100	—	—			
	ろ過流量計逆流流量計(H32年度)	%	—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	更新が必要な施設数(箇所数割)	%	10	10	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	更新が完了した施設数(箇所数割)	%	10	10	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標: 事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標: 達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	平成29年度は1号井戸の取水流量計等の更新を行い浄水場を継続的に適正な運営することができるようになった。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	浄水場施設を計画的に更新し、市民に安全に安定した供給を行う。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	